

周辺地図



**LISE**  
 ラ イ ズ  
 Life Science & Environment research center

建物概要

- 所在地 / 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25-13
- 敷地面積 / 6,999.93㎡
- 建築面積 / 3,110.63㎡
- 延床面積 / 11,406.09㎡
- 構造 / 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
- 規模 / 地上4階、塔屋1階
- 竣工年月 / 2012年12月
- 設計・監理 / 大成建設株式会社一級建築士事務所
- 施工 / 大成建設株式会社横浜支店
- 建物所有 / 大成建設株式会社
- 建物維持管理 / 大成有楽不動産株式会社

交通アクセス

- 【空港】  
羽田空港から車で約11分
- 【鉄道】  
京急大師線「小島新田駅」から徒歩15分  
「川崎駅」経由で「東京駅」へ約33分、  
「横浜駅」へ約17分
- 【自動車・バス】  
首都高速「殿町IC」から車で約1分  
「横浜駅」「川崎駅」から路線バスが運行  
京急大師線「産業道路駅」からバス約8分

お問合せ先



総合企画局 臨海部国際戦略室  
 〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.044-200-2732 FAX.044-200-3540



都市開発本部 開発事業部  
 〒163-0606 東京都新宿区西新宿1-25-1  
 TEL.03-5381-5169 FAX.03-5381-5543

殿町 国際戦略拠点「キング スカイフロント」

川崎生命科学・環境研究センター

殿町 国際戦略拠点「KING SKYFRONT(キング スカイフロント)」の中核を担い、  
 産学公民の連携によりライフイノベーション・グリーンイノベーションの実現を目指す

## ライフサイエンス・環境分野の研究者たちをつなぐリンクラボ



### ■川崎生命科学・環境研究センター(ライズ)の紹介

ライズは国際化が進む羽田空港に隣接した殿町地区において、ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点の推進を図るため、市の研究施設である「川崎市環境総合研究所」、「川崎市健康安全研究所」や「川崎市海外ビジネス支援センター」等の公共施設に加え、先端技術を有する大学・研究機関・企業等の民間施設を複合化した建物です。

ライズでは、「産学公民の垣根を越えた研究者たちの相互交流」をテーマに、民間施設運営アドバイザーのサポート体制により、テナント支援・交流施設イベント企画・研究者交流アドバイス等を行っていきます。



### ○ライズの事業スキーム

- (1) 川崎市が公募選定した大成建設(株)に市有地を貸付
- (2) 大成建設(株)がライズを建設し、20年間保有・運営
- (3) 川崎市は大成建設(株)から1~3階を賃借
- (4) 大成建設(株)は4階の民間ラボの入居者を誘致・賃貸

### ○ライズの経過

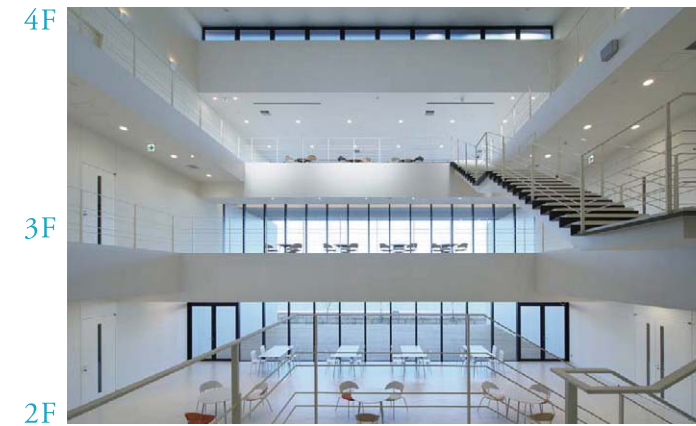
- 2011年 4月 事業契約の締結
- 2011年 12月 建設工事開始
- 2012年 12月 竣工
- 2013年 3月 ライズ開所
- 2032年 12月 事業契約終了予定

(建物の所有権は川崎市へ移転)

## Communication Space

研究者をつなぐコミュニケーションスペース

相互交流のきっかけとなり、全体共用の打合せスペースとして利用可能。  
研究者にとって心地よいフレッシュスペースを創出。



## Science Design

研究所らしさを表現するサイエンスデザイン

試験管をイメージする外壁

知の引き出し(薬箱)をイメージする多摩川に面する開口部



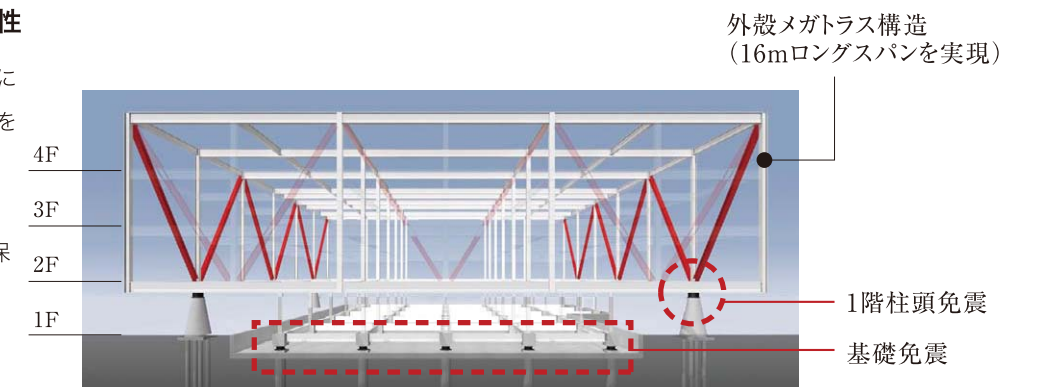
東側外観



多摩川に開いた北側外観

## ■研究者と研究成果を守る安全性

- 基礎と1階柱頭に配置した免震装置により地震の揺れを低減し、安全・安心を確保
- 365日24時間警備員常駐
- カードリーダーによるセキュリティ確保



## 1F 研究交流スペース

### 川崎市海外ビジネス支援センター (KOBS)

#### 【概要】

ワンストップにて海外展開を支援します。

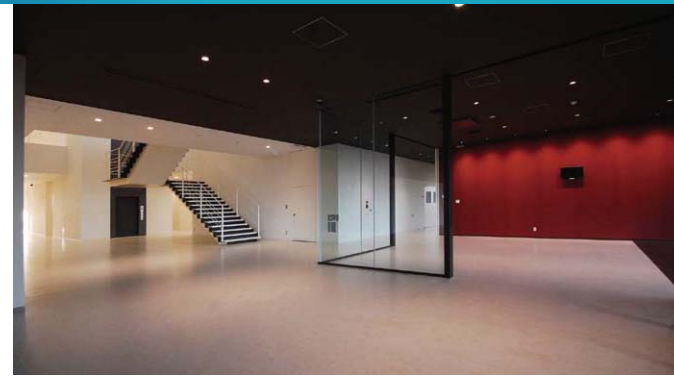
#### 【業務・機能】

- 海外展開を目指す市内企業等の支援拠点
- 海外支援コーディネーターによるサポート  
海外支援コーディネーターが、①海外展開ニーズ把握から、②販路開拓サポート、③海外展開戦略に係る個別具体的支援まで、市内企業の各ステージに合わせた支援を、関係機関と連携して実施
- 情報発信  
ホームページ等を活用して、海外展開ニーズを有する川崎市内企業の情報を発信

### 大会議室

#### 【概要】

大会議室(会議室)は、ライズの入居者等が利用可能な施設です。大会議室の収容人数は最大150名で、正面にプロジェクタとスクリーンを備え、音響機器等も整備しています。他にも可動式のステージや簡易通訳ブース等も備えており、セミナーなどで利用することを想定して、講師控室も用意しています。また、大会議室は可動式のパーテーションで6分割することができ、それぞれ25名定員の会議室としても利用可能です。各部屋にホワイトボードやプロジェクタ、スクリーンを備えています。



ホール

### カフェ(「モトヤエクスプレス・フォルテ」)

#### 【概要】

モトヤエクスプレス・フォルテは、障がいのある人がいきいきと働く就労支援施設のカフェです。社会福祉法人長尾福祉会が、有名コーヒー店「モトヤエクスプレス」と連携して運営しており、質の高いこだわりのコーヒーやお菓子、お店で焼き上げる手作りパン、充実したランチメニューなどをご用意しています。



大会議室



カフェ

## 2F 川崎市健康安全研究所

#### 【概要】

感染症対策、食の安全安心、生活衛生対策等の様々な健康危機管理に対応する科学的・技術的中核施設として、従来の衛生研究所の機能を強化し、調査研究、試験検査、研修指導、公衆衛生情報等の収集・解析・提供を行います。

#### 【業務・機能】

- I 調査研究
  - 疾病予防や試験検査法等に係る調査研究の実施
  - 公衆衛生の向上に寄与する連携、共同研究の推進
- II 試験検査
  - 感染症や食品、水等の試験検査の実施
  - 専門的かつ高度な試験検査の重点的な実施
- III 研修指導
  - 地域保健関係者への研修指導、技術的指導
- IV 公衆衛生情報等の収集・解析・提供
  - 専門情報の収集、解析、市民事業者への提供



2階ラボ内

## 3F 川崎市環境総合研究所

#### 【概要】

多様化、複雑化する環境問題に対応するために、「公害研究所」「公害監視センター」「環境技術情報センター」を再編・統合し、機能を高度化するとともに、研究所・大学・企業等と連携し、環境に関する総合的な研究を行う拠点として開設しました。



3階ラボ内

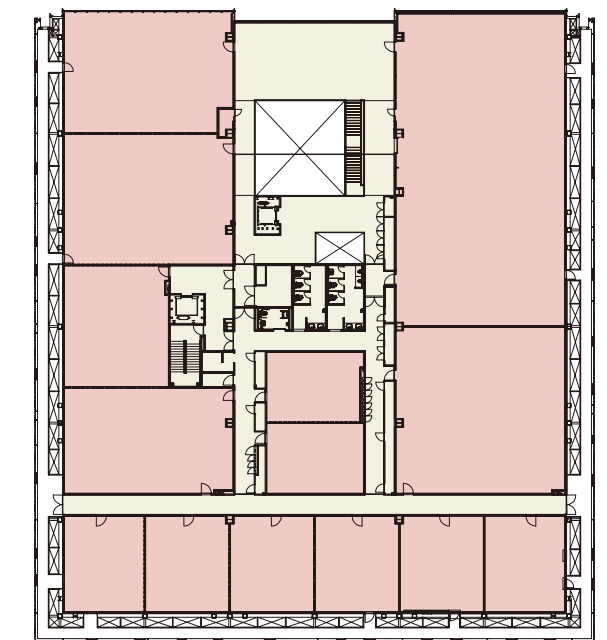
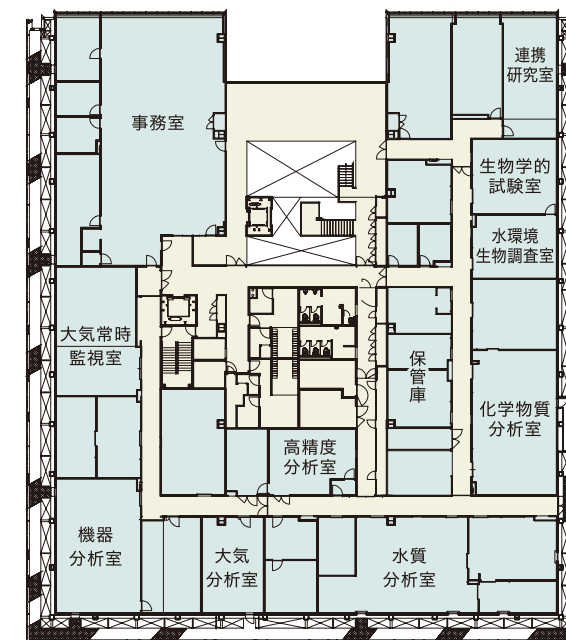
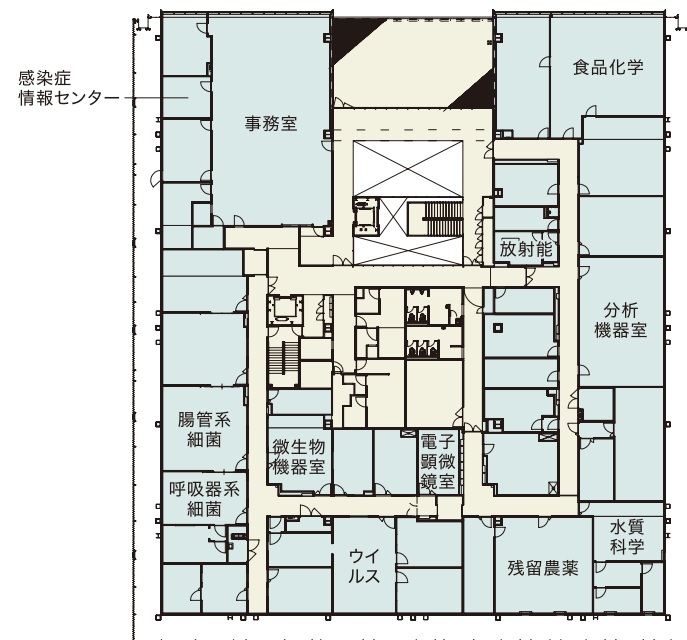
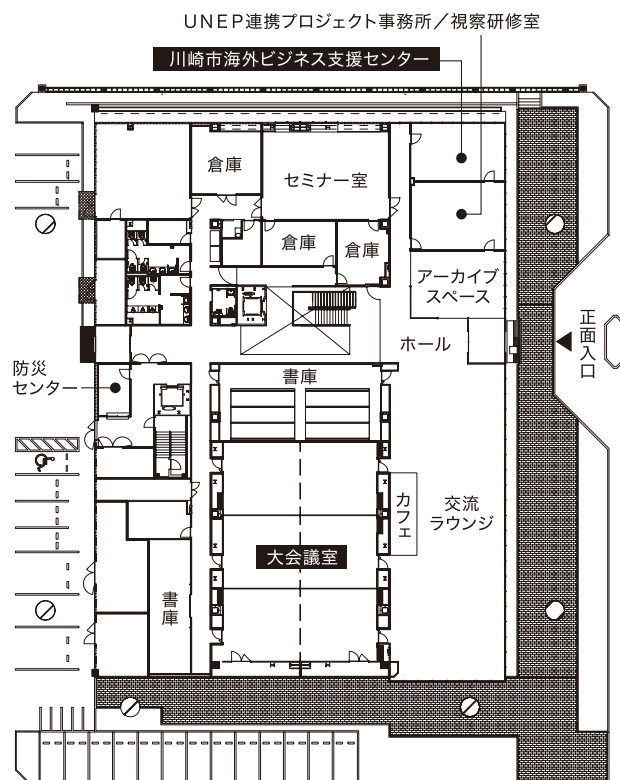
#### 【業務・機能】

- さらなる環境改善と  
環境汚染の未然防止のための監視・調査・研究
- 優れた環境技術情報の収集・発信
- 川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進
- 「都市と産業の共生」を目指した研究  
(産学公民連携共同研究)
- 多様な主体と連携した環境教育・学習

## 4F 民間ラボ

#### 【概要】

ライフサイエンス・環境分野の先端技術を有する大学や研究機関、企業等の入居を目指しています。スケルトン状態から入居者が内装工事を行えるため、様々なオーダーに対応可能です。



# 環境に配慮したエコロジカル・ラボ



ライズ断面図

## 6 T-zone-saver (人検知によるゾーン環境制御)

人の在・不在をゾーンごとに検知し、照明・空調を自動制御。  
(2・3階事務室に採用)



環境制御イメージ(人が居るところだけ制御)

## BEMSの導入

- BEMSにより得られたデータの自動解析、見える化により省エネ意識向上を図る。
- データの蓄積により、将来的には地域エネルギーネットワークの構築が可能。

※BEMS  
Building and Energy Management Systemの略。  
中央監視装置を使ったビルのエネルギー管理システムで、建物の省エネ度を監視・制御。

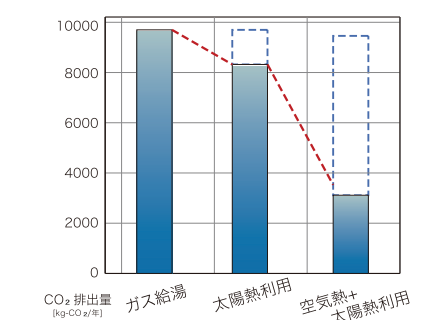
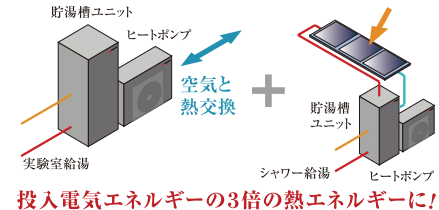
## 省エネ配慮項目

- 高効率変圧器の採用
- インバータ機器の採用
- 人感センサによる自動点滅
- 節水型衛生器具
- LED照明の採用(共用部)
- 初期照度補正
- 全熱交換機
- 電気自動車充電機の設置

## 1 太陽熱と空気熱を利用した給湯

太陽熱と空気熱をベストミックスした給湯システムを2・3階シャワー給湯設備に採用。

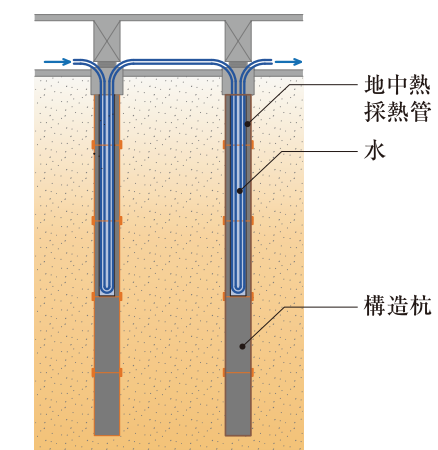
※空気熱: 空気中に熱の形で蓄えられたエネルギー



## 2 構造杭を用いた地中熱利用空調

年間安定した地中の熱を利用した水冷ヒートポンプエアコン<sup>※</sup>を導入し、1階アーカイブスペースの空調を実施。

※水冷ヒートポンプエアコン  
地中熱と冷媒との熱交換による省エネルギー空調システム



地中熱の回収イメージ

## 3 太陽光発電パネル

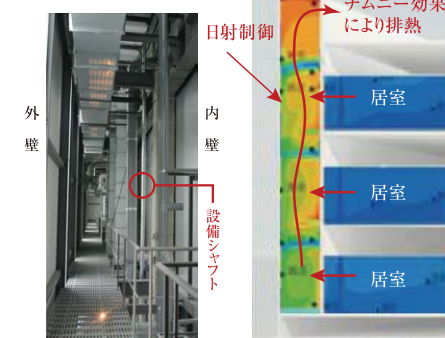
再生可能エネルギーの積極的な活用。屋上に70kwの太陽光発電パネルを採用。



## 4 ダブルウォール (内部設備バルコニー)

建物外周部に設備シャフトとしてダブルウォール(二重壁)空間を設置。

- 配管ダクトの更新、メンテナンス性向上
- 研究所の配管の塩害対策
- 空気層による断熱性向上
- 居室に対する日射負荷軽減
- 空気層を空調排気によって加圧し、上部より排熱(チムニー効果)

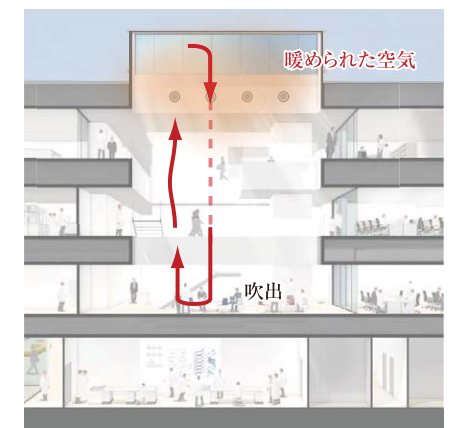


ダブルウォール空間

温熱シミュレーション

## 5 環境装置としてのセントラルヴォイド

- セントラルヴォイド(吹抜け空間)上部にトップライト(天窗)を設け、自然採光を行う。
- 冬期は上部にたまる熱気を回収し、吹抜け下部から吹出すことで、暖房として利用。



冬期のイメージ

# CASBEE川崎 Sランク達成

## CASBEE川崎

川崎市建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)とは、環境への配慮を促し、環境へ負荷の低減を図ることを目的として、環境配慮項目についての取組を評価するもの。

評価結果は5段階で表され、Sランクは最も高い評価。